

# くらすむ

つくばで「暮らす」、つくばに「住む」。

kurasumu  
2013



つくばで  
暮らすと楽しい!  
つくばに  
住むと嬉しい!



「巻頭特集」

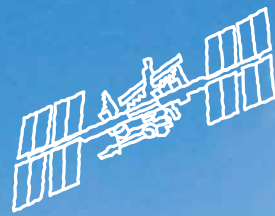
全国トップクラスの  
学力を支える「科学の街」。  
その環境、暮らし、子育てを  
ぎゅっと詰め込みました。



つくばちびっ子博士







つくばで「暮らす」、つくばに「住む」。

# くらすむ

kurasumu  
2013



その暮らしをご紹介します。

相反するような2つの環境が共存する、つくば市。

子どもたちを、伸び伸びとしなやかに育みます。

一方で、里山の豊かな自然に恵まれたこの街は、

子どもたちの学びの場となっています。

この多くの研究機関が、

国内最大の科学技術都市。日本の頭脳。

日本国内の研究機関の3割が集積する、

ここ、つくば市のみ。

「都市と自然が融合した街」は

国内にどのくらいあるのでしょうか。

しかし、そこに「科学の街」が附加された街は

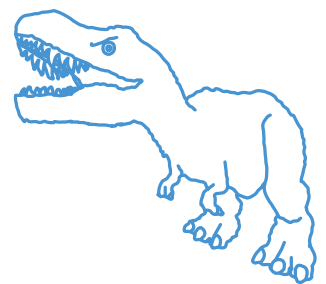
今や、住みやすい街のキャッチフレーズとなっている

子どもたちの

知的好奇心を満たす街。

子どもたちが

伸び伸びとしなやかに育つ街。







ヒューマノイド・  
ロボットにも  
会えるよ!!

未来への夢と冒険の旅を  
約束したパスポート。

# 研究所が 僕らのフィールドだ!

つくばならではの  
知的環境!

夏休み期間中に全国各地から延べ約8万人の小中学生が参加する「つくばちびっ子博士」は、つくば市内にある研究施設で、つくばちびっ子博士に参加している37施設を巡るスタンプラリー。  
専用のパスポートにスタンプを集め、事務局（つくば市教育委員会教育指導課内）へ提出すると、スタンプの個数により、「つくばちびっ子博士（6カ所以上）」「優秀つくばち

## 「巻頭特集」 つくばkids 夏休みの定番イベント!! つくばちびっ子博士

びっ子博士（12カ所以上）」「最優秀つくばちびっ子博士（18カ所以上のスタンプと400字程度の感想文）」に認定され、認定証と記念品が贈呈されます。つくば市ならではの知的環境を活かしたこのアクティビティ。つくば市在住の小中学生のほとんどが参加するというこのイベントは、幼い頃から知的好奇心を刺激する、つくば市を象徴したイベントなのです。

夏休みの定番イベント!!



つくばちびっ子博士のパスポート。つくば市内の小中学校では学校で配布される



### 指定見学施設

- ▶ (独) 国立公文書館つくば分館
- ▶ 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構
- ▶ (独) 建築研究所
- ▶ 国土交通省 国土技術政策総合研究所
- ▶ (独) 土木研究所
- ▶ NTTアクセス サービスシステム
- ▶ (独) 防災科学技術研究所
- ▶ 戸田建設(株) 技術研究所
- ▶ (国) 筑波大学

- ▶ 国土地理院 地図と測量の科学館
- ▶ ゆかりの森昆虫館
- ▶ (独) 国立科学博物館 筑波実験植物園
- ▶ 筑波学院大学
- ▶ つくばエキスポセンター
- ▶ つくばサイエンス・インフォメーションセンター
- ▶ サイバーダイナミクススタジオ
- ▶ (一財) 自動車研究所
- ▶ アステラス製薬(株) つくば研究センター

- ▶ つくば国際会議場
- ▶ (独) 物質・材料研究機構
- ▶ (独) 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 筑波宇宙センター
- ▶ (独) 産業技術総合研究所 地質標本館
- ▶ (独) 産業技術総合研究所 サイエンス・スクエアつくば
- ▶ 高層気象台
- ▶ 気象測器検定試験センター
- ▶ 気象研究所
- ▶ (独) 国立環境研究所
- ▶ 農研機構 果樹研究所

- ▶ 農研機構 花き研究所
- ▶ (独) 種畜管理センター
- ▶ (独) 医薬基盤研究所 薬用植物資源研究センター
- ▶ (独) 国際協力機構 筑波国際センター (JICA 筑波)
- ▶ (独) 理化学研究所 バイオリソースセンター
- ▶ (独) 農業生物資源研究所
- ▶ 食と農の科学館
- ▶ (独) 農業環境技術研究所
- ▶ (独) 森林総合研究所 もりの展示ルーム

つくばちびっ子博士の実施期間に合わせて、つくばサイエンスツアーバスは「夏休み特別運行」をしています。

毎週土曜は  
スタッフガイド  
同行コースも  
実施しています

月曜を除く  
毎日運行!







大きな地質  
立体模型で  
分かりやす  
く解説

地球科学の研究を分かりやすく展示  
産業総合研究所  
地質標本館

つくば市東1-1-1 ☎029-861-3750  
開館時間/9:30~16:30 休み/毎週月曜(祝日の場合は翌  
平日)、年末年始 予約/不要(15名以上の団体は要予約)  
http://www.gsj.jp/Muse/



地球科学を4つのテーマで  
模型や映像、音声を使って紹介  
サイエンススクエアつくばと同じ  
敷地内にある地質標本館は世界でも  
珍しい地球科学専門の博物館。化石  
標本や鉱物標本のほか、ジオラマな  
どを展示しています。

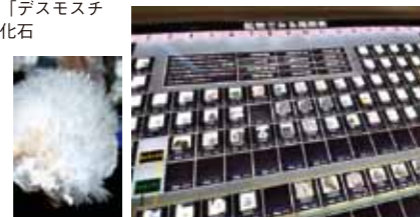


迫力ある  
化石がすごい!



約1100万年前までに  
絶滅した「デスモスチ  
ルス」の化石

学校で学んだことを  
掘り下げるために  
来ています



美しい鉱物による周期表。私たちの生活との結びつ  
きをわかりやすく解説してくれる



「生きてる化石」のコーナー。太古から姿  
が変わらず生き続けている動植物がずらり

世界に誇る宇宙開発技術  
筑波宇宙センター(JAXA)

つくば市千現2-1-1 ☎029-868-2023 開館時間/10:00~17:00  
休み/年末年始、施設点検日等 ※施設見学ツアーは月曜休み(夏休み、  
冬休み、春休みを除く) 予約/必要(※施設見学ツアーの場合)  
http://fanfun.jaxa.jp/visit/tsukuba/index.html



宇宙服に入って  
写真も撮れるよ

星宇宙飛行士のパネルも(2013年8月現在)

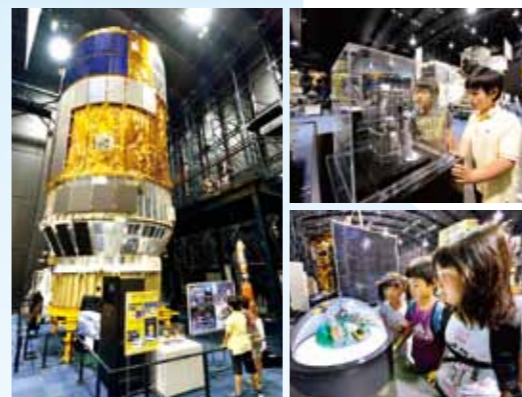


実物の  
H-IIロケットは  
大きいな!

実物のH-IIロケット  
がお出迎え

日本の宇宙開発の拠点のひとつ、  
「筑波宇宙センター」

日本が世界に誇る、最先端の宇宙  
開発技術の拠点。  
年間31万人が訪れるという見学施  
設・スペースドーム。実物大モデル  
の「きぼう」日本実験棟・船内実験  
室や、実物のLEI7Aロケットエ  
ンジンなど宇宙への夢が広がる展示  
物がずらり!



「こうのとりのこ」(HTV) 試験モデルなどを常設展示している「スペースドーム」

農業の歴史と未来が一目瞭然!  
食と農の科学館

つくば市観音台3-1-1 ☎029-838-8980  
開館時間/9:00~16:00 休み/年末年始  
予約/不要(団体または案内希望者のみ要予約)  
http://trg.aifrc.go.jp/



世界中で作られているコメの展示。色も大きさも  
違うコメに興味津々

農業と食との関わりや、  
それを支える農業技術を表示  
農業や林業などの研究成果パネル  
は「食」をテーマにしているだけに  
子どもも興味津々。隣接している農  
業技術発達資料館には、江戸時代に  
実際に使用されていた農機具約  
180点がずらり!



農業技術発達資料  
館には希少な農機  
具がたくさん

クイズに  
答えると認定書が  
もらえるよ



コクランシンの  
模型に自然

触れる展示物も  
あるよ



環境ジオラマでは、棚田の  
役割を紹介

最先端の産業技術を楽しく体験  
産業総合研究所  
サイエンス・スクエアつくば

つくば市東1-1-1 ☎029-862-6215 開館時間/9:30~17:00  
休み/毎週月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始  
予約/不要(ガイド付き見学希望者と10名以上の団体は要予約)  
http://www.aist.go.jp/aist-j/sst/



刻々と進歩する技術と、  
その技術による未来の世界  
テーマ別に約40の展示ブースがあ  
り最先端の産業技術が体感できる人  
気スポット。特にロボット展示は多  
彩で、ヒューマノイド・ロボットや  
癒やし効果のあるアザラシのロボッ  
ト「パロ」、テイラーノサウルスの  
1/3スケール、2即歩行を実現し  
た恐竜ロボットなどが展示されてい  
ます。

二足歩行が  
できるよ



目玉やしっぽもリアルに動か  
すことができる迫力満点の  
ティラノロボット

アニマルセラピーロボット  
「パロ」は人気



人気のヒューマノイド・ロボッ  
トは、デモンストレーション  
もある



ロボットなど  
最先端の技術が  
見られて楽しいよ

開館時間: 9:30~17:00  
休館日: 毎週月曜(祝日)





最先端の科学技術が集積する街、つくば。  
ここで育ち、ここで学ぶ。  
**この環境がスタンダードになる。**



各技術の専門家が  
いっぱい!

現場で「生きた」  
学習ができる



この国内でも類を見ない教育資源が豊かな環境を活かし、つくば市では市政の重要政策の一つとして「教育日本一」のまちづくりに取り組んでいます。2012年には小中一貫教育が市内の全小・中学校でスタートし、9年間の連続した学びを生み出すつくば独自の教科「つくばスタイル科」が始動。「つくばスタイル科」では、「環境」「キャリア」「歴史・文化」「健康・安全」「外国語活動」を柱に実践的な教育を実現。つくば市内にある研究所から講師として研究者を招いた授業の展開や校外学習で研究施設を頻りに訪れるなど、この環境を最大限に活かした学びが実践されているほか、筑波大学や市内に本社があるインテル株式会社と提携したICT教育環境を構築しています。

「先端科学」「国際都市」「環境都市」などの特徴がありながらも、昔ながらの里山の自然が残るというつくば市。2012年に「子どもが育つ街研究会」が実施したアンケートによると、つくばエリアの男児の夢の第1位が「科学者」、自主学習時間が関東で第1位、「休日」に親子で公園へ、「関東で第1位」と「学習への興味関心」に留まらず、公園で家族で過ごすなどバランスのとれた親子関係が浮き彫りになりました。

平成25年8月現在、約22万人の人口のうち、研究者が約2万人、博士号取得者が約5000人、外国人は約130カ国から約7000人が暮らしているつくば市。

次の時代を創造していく子どもたちを育てる環境が、つくば市には整っています。



特に希少な植物が多い「サバンナ温室」



模型も  
たくさんあるよ

今日は花びらの  
芽を作ったよ



約14ヘクタールの広大な園内! 20エリアにさまざまな植物が植えられているほか、熱帯雨林や水生植物など4つの温室もあり3000種類の植物が楽しめます。

北限と南限の植物が育つ茨城。海外の希少植物も豊富にそろった



工作などのワークショップも

世界の植物に出合える場所  
**国立科学博物館  
筑波実験植物園**

ちびっ子博士指定施設  
人気スポット

つくば市天久保4-1-1 ☎029-851-5159 開館時間/9:00~17:00  
休み/月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始  
予約/不要(ガイドツアーは要予約) <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

大きな地図で日本を体感  
**国土地理院  
地図と測量の科学館**

ちびっ子博士指定施設  
人気スポット

つくば市北郷1 ☎029-864-1872 開館時間/9:30~16:30  
休み/月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始  
予約/不要(15名以上の団体は要予約) <http://www.gsi.go.jp/>



エントランスに入ってすぐの日本列島。3Dメガネをかけて凹凸を感じて

山のでこぼこがおもしろい!



測量用航空機の初代「くにかぜ」が常設展示



「地図と測量」に触れる、体感する  
さまざまな角度から  
地図が手書きだった時代からの測量技術や文化を知ることが出来る展示が満載。赤青メガネで見える3Dの日本地図(縮尺10万分の1)や大きな球体模型など、楽しみながら学べる仕掛けが盛りだくさん! 小学校で学習する地図記号あてクイズは大人が悪戦苦闘!



屋外にある球体模型は、地球の丸みを感じられる

森林総合研究所の展示館  
**もりの展示ルーム**

ちびっ子博士指定施設  
人気スポット

つくば市松の里1 ☎029-829-8134 開館時間/10:00~16:00  
※つくばちびっ子博士と科学技術週間のみ公開。  
団体等で見学希望の場合は要予約。  
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/facilities/tenji-room/>



カブトムシが  
たくさんいて  
びっくり!



虫の標本がたくさんあってきれいだよ



パネルや剥製、標本で楽しく学べる。身近な動物や昆虫の謎が解けるかも?



生物多様性に関する研究の  
パネルや剥製などを展示  
ちびっ子博士と科学技術週間のみ公開の展示ルーム。野生鳥類の剥製や昆虫標本、さまざまな木の見本などのほか、夏休み期間は周辺で捕獲したカブトムシやクワガタを触れることもできる。



公開期間は館内で工作なども実施している





■景観を大切にすまち  
葛城地区のほぼ中央にある約28,000㎡の住宅地では、各宅地における建築物の用途・形態意匠・色彩・緑化、緑地、樹木についてルールを定め、住宅地としての良好な景観の形成に配慮したまちづくりを進めています。



■[写真上] 島名地区の街並み、[左] 科学万博記念公園



■つくばエクスプレス万博記念公園駅

■賑わいがあり、歩いて楽しい駅前  
研究学園駅周辺では、賑わいが連続し、歩いて楽しく、個性的で魅力ある商業・サービスエリアの形成を目指し、店舗の中を見せる工夫やショーウィンドウの設置などの賑わいつくり、日除けテントや吊り下げ看板などによる魅力的な演出がされています。



■つくば市立春日学園

## 島名・福田坪地区

島名・福田坪地区は、秋葉原まで約46分の万博記念公園駅を中心とし、駅近くに優良な住宅地を確保できる、都内通勤者に魅力的なエリアです。静かな環境と通勤通学の利便性を兼ね備えるとともに、コミュニティ道路には低消費電力のLED照明や遮熱性舗装を導入するなど、環境にやさしいまちづくりも進められています。



■つくば市立島名小学校

■最寄駅=つくばエクスプレス万博記念公園駅  
秋葉原まで46分(区間快速)  
面積=242.9ha  
計画人口=15,000人

■最寄駅=つくばエクスプレス万博記念公園駅  
秋葉原まで46分(区間快速)  
面積=168.2ha  
計画人口=11,000人

■上河原崎・中西地区と島名・福田坪地区では、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が建設中(平成27年度開通予定)で、東は常磐自動車道、成田方面、西は東北自動車道、関越自動車道、中央自動車道方面と、車での移動にも極めて便利なエリアです。

## 上河原崎・中西地区

上河原崎・中西地区は、万博記念公園駅までの道で豊かな自然を楽しめ、それでいてつくばエクスプレスに乗れば、秋葉原まで約46分まで到着できる首都圏通勤エリアにあります。住宅地周辺を豊かな自然が取り囲み、休日はスローライフを満喫できます。また、地区内に幹線道路が縦横に走る交通利便性の高さをいかし、大規模な商業施設の誘致も計画されています。

## 葛城地区

■最寄駅=つくばエクスプレス  
研究学園駅  
秋葉原まで46分(通勤快速)  
面積=484.7ha  
計画人口=25,000人

葛城地区は、つくば市内の沿線でも最も広い開発面積を有し、市役所や大型商業施設、各種業務施設等が配置された、つくば市の中心部に隣接する副都心的な役割を担うエリアです。また、当地区はまらちのどこからでも筑波山を望め、地区内及び周辺の身近なところに緑地や大規模公園緑地があり、自然環境に恵まれています。このような特徴を活かしながら、魅力的なまちづくりが進められています。

## Tsukuba EXPRESS



## 萱丸地区

みどりの駅のある萱丸地区は、秋葉原まで約43分、都心に一番近い「つくば」です。電車だけでなく、常磐自動車道「谷田部IC」や主要幹線道路に近接し、車で都心や研究学園都市へのアクセス性が高い地区です。周辺にはつくばの原風景が広がり、どこか懐かしい風景を感じることができ、穏やかな時間が流れる場所です。桜の名所や昔ながらの商店街も近くにあり、エリア内には、鹿島アントラーズの育成施設(つくばアカデミーセンター)や一般家庭500世帯分の電力を賄えるつくばメガソーラー発電所などがあります。

■最寄駅=つくばエクスプレス  
みどりの駅  
秋葉原まで43分(区間快速)  
面積=292.7ha  
計画人口=21,000人

つくば市の沿線開発地区では、民間の事業者のほか、沿線開発を進める茨城県や独立行政法人都市再生機構からも、多くの優良な住宅地が供給されています。

- 茨城県「茨城県の宅地分譲」 <http://tx-town.jp/>
- 都市再生機構「UR宅地分譲」 <http://www.ur-net.go.jp/takuchi-east/>  
「URパートナーズ(関東)」 <https://housing.ur-net.go.jp/ur-partners/east/>  
※住宅事業者向けの戸建住宅用地ですが、個人のお客様もURパートナーズ会員(ハウスメーカー等)を通じ、宅地をご購入いただくことができます。

## 中根・金田台地区

■最寄駅=つくばエクスプレスつくば駅  
秋葉原まで45分(快速)  
面積=189.9ha  
計画人口=8,000人

■景観緑地のある住宅地  
「景観緑地のある住宅地」には、緑住街区と緑住農住街区の2種類があります。緑住街区は、芝生と並木による景観緑地の「緑」と、100坪を超えるゆとりのある住宅地の「住」で構成されます。緑住農住街区は、さらに果樹園や菜園として利用できる「農」が加わります。ここでは定期借地権分譲を基本としているため、このように大きな住宅地に少ない初期負担で住むことができます。



■つくばエクスプレスみどりの駅



TX  
各駅を中心に個性的な街づくりを進めています。  
都心へのアクセスが良く、充実した都市機能を持ちながらも豊かな自然を享受するゆとりある暮らし。つくばエクスプレス沿線では、





+ Toru Isogami



TXで  
通勤が楽々

男性  
視点

つくば市はこんな街

{ パパ座談会 }

+ 参加者

写真左から  
磯上透さん(つくば歴12年目。子ども:長男(高1)、次男(中1)、長女(5歳))  
小林智彦さん(つくば歴19年目。子ども:長男(小2)、長女(4歳))  
大塚公彦さん(つくば歴7年目。子ども:長女(小6)、次女(小3)、三女(小2)、四女(5歳))  
(文中敬称略)



[写真右] 家族ぐるみ、家でバーベキューをして楽しむことも  
[左] 保育園や学校で知り合い、休日にも家族ぐるみで楽しむ



街並みが  
美しい!

+ Tomohiko Kobayashi

つくば市はこんな街

つくば市の魅力をお伝えするには、住んでいる方に語ってもらうのが一番！  
ここでは、いずれもつくば市在住、子育て中の方に「男性視点」「女性視点」の座談会形式でその暮らしぶりをお話いただきました。



[写真右] 保育園の「おやじの会」では、休日に集まり大型遊具を作成。地域貢献の意欲が高い  
[中] 国際教育も盛ん。外国人の子が数名いるクラスも多い  
[左] 筑波大学の学生が積極的に地域に参加

子どもの  
学習環境が  
充実



+ Kimihiko Otsuka

子育てに積極的な父親が多い街

小林: 毎回行っています。自分の子のクラス以外でも見学できるので、興味のある授業は積極的に見ています。総じて趣向を凝らした良い授業だと思います。  
磯上: 親の教育に対する意識はとて高いです。研究学園都市という地域柄、高い専門知識を持った方も多く、子どもたちも「勉強するのは当たり前」という環境にいます。  
小林: それはとても感じます。保育園だと保護者同士の関わりがとて深いですが、会話をしている親の教育レベルもものすごく高い。とても刺激的な環境です。かと言って、いわゆる詰め込み型の教育をするのではなく、伸び伸びと余裕を持つ子どもたちを誘っている気がします。  
大塚: 親のバックグラウンドが似ているので家族ぐるみの付き合いがで

うしたら乗り継ぎの電車が止まっていて自宅に戻りました(笑)  
磯上: 毎日乗っていますが、とにかく事故や故障が無いですね。遅延もほとんど記憶がありません。可動式のホーム柵は子どもにとっても安全ですし、振動も少なく心地良いです。  
司会: みなさんお子さんがいらつしゃいますが、つくば市の子育て環境はいかがですか？  
磯上: 保育園には入りやすいと感じました。しばらく民間の託児所に「待機」していたのですが、ほどなく希望の認可園に入園できたので。市内ではとても考えられません。また、息子がサツカをやっているのですが、筑波大学の体育系の学生が教えてくれるんです。最先端のスポーツ科学に基づいた指導を幼い頃から受けられるというのはとても恵まれています。  
大塚: 学習面でも充実していますね。ICT教育に力を入れていて、小学校低学年でもタブレットを使いこなす姿を見たときは驚きました。小学校ではオーブンスクールといって年に数回公開授業があるのですが、とにかく親の参観率が高い。ほとんどの親が見に来ていますし、父親の姿もかなり多いです。  
司会: みなさん、オーブンスクールには行かれたことがありますか？  
磯上: 全員が領く。



都市機能が充実しているが、豊かな自然も満喫できる



自然が豊かで野菜がおいしい

Manami Nojima



子育てにやさしい科学の街



Shiori Okazaki



[写真右] 新鮮な野菜が安いのも魅力 [左] 収穫体験なども手軽にできる環境

緑あふれるトカイナカ(都会田舎)

つくば市はこんな街 ババ座談会

つくば市はこんな街 ママ座談会

「写真右」子連れにやさしいカフェも多い 「左」「パンの街」といわれる程、質の高いパン屋さんがたくさん



女性視点

つくば市はこんな街

{ ママ座談会 }

子どもの多さにびっくり



Tsubasa Sakuma

参加者

写真左から 野島真奈美さん(つくば市生まれ。子ども:長男(小3)、長女(5歳)) 岡崎詩織さん(つくば歴4年目。子ども:長男(4歳)) 佐久間つばさん(つくば歴3年目。子ども:長男(5歳)、次男(2歳)) (文中敬称略)

司会: まずはみなさんに「つくば市の印象」を伺います。野島さんはつくば市生まれと伺いましたが、野島: はい。大学時代につくばを離れましたが、やっぱりつくばが恋しくて(笑)戻って来ました。子どものころはまさしく「田舎」という風景で、そんなつくばが大好きだったんです。ですから研究学園都市としてどどん街がつくられていく様子をやや不安な気持ちで見ました。緑を残す計画的な開発が幸いし、とても素敵な街になって不安は杞憂に終わりましたね。相変わらず車で数分走れば夏にはホテルが舞う「田舎」も楽しめてとてもバランスの良い街になったと思います。 岡崎: 夫の転勤でつくば行きが決まったときはうれしかったです。つくば市の美しい街並みは有名ですし、パンの街という程パン屋さんも多く、カフェもあって子連れで楽しんでいました。子育て支援も充実していたので、支援センターに行ったり子どもを連れて集える場所に積極的に顔を出したりして徐々に友達が増えていきました。私のように転勤でつくばに来たという人もたくさんいて、みなさん積極的に動いていましたよ。 佐久間: 私も夫の転勤でつくばに越して来ました。TX沿線の開発地区に住んでいますが、同じく転勤で来た方が多くて輪の中に入りやすかったです。あとは子どもの多さにびっくりしました。

くりしました。 岡崎: 子どもは多いですね。3人兄弟はわりと普通。4人以上もけっこういますね。 野島: そうですね。出産ができる病院も4つありますし、子育て支援も大小さまざまな団体が積極的に活動しています。あとは土地柄でしょうか、みなさん伸び伸びと子育てをしていますね。 佐久間: それは感じます。自宅は新興住宅街なので他県から越してきた方が大多数。同じ境遇なのでとても居心地が良く、徒歩で公園に行つて子どもをのんびりと遊ばせながら世間話: という日常で寂しさは感じません。 司会: 子育ての話がでしたが、「つくば市の子育て環境」についてお話ください。 野島: やはり「科学の街」というのがほかの地域との決定的な違いでしょうか。国の研究所の3割がつくば市に集積しているほか、公園にロケットがあつたりとごく身近に科学があります。夏休み恒例の研究機関のスタンパラー「つくばちびっ子博士」には、つくば市の小学生はほぼ全員参加しますし、身近な友達のお父さん、お母さんが研究者というのはとても恵まれた環境だと思います。 岡崎: ちびっ子博士の期間以外にも一般公開をしている研究施設があるので、休日などにはよく利用しています。

ます。ロボットのデモンストレーションがあつたり、ティラノサウルスのロボットがいたりして幼稚園生の息子でも楽しめますし、入場料もほとんどの施設が無料、有料でも数百円です。息子が通う幼稚園の遠足はつくば市内にある筑波宇宙センター(JAXA)でした。これもつくばならではのですね。 佐久間: 公園の多さも魅力ですね。特にTXの沿線地域は歩道も整備されていますし、ベビーカーも押しやすい。あとは、大型ショッピングセンター内の施設も広く市民に提供してくださったりして、街が元気になる感じがしますね。 野島: それでいて、少し車を走らせると昔ながらの農村地帯が広がっています。夏はホテルが飛んでいます。地域の農家さんも積極的に農業体験を開いているので家族で参加して楽しんでいきます。 岡崎: 農産物といえればつくばには野菜の産直のお店が多くて、地場産の新鮮野菜が手頃な値段で手に入るのもうれしいです。 佐久間: 変わった野菜もありますね。野島: 確かに、市場にあまり出回らないものも多いですね。直接農家の方に料理方法を教わったり、そんなコミュニケーションも楽しいです。



# つくば市マップ & ロケーション



つくば・秋葉原を最速45分で結ぶつくばエクスプレス

## つくば市アクセス概要



つくば市人口 = 218,932 人 (2013年8月常住人口) 面積 = 284.07 km<sup>2</sup>